

2019年度

アメリカ留学報告書

実習先；セントラルミズーリ州立大学

実習期間；8月22日(木)～12月12日(木)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号；21018072
田中 陽花

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：令和元年8月22日(木)～12月12日(木)

※帰国は12月13日(金)

2. 留学先概要

(1) 大学について

セントラルミズーリ州立大学(University of Central Missouri)は、1871年に設立され、ミズーリ州のウォレンズバーグに位置する総合大学である。大学には約13,000人の学生が通っており、ミズーリ州以外からも全米43州、57ヵ国から生徒が集い様々な分野を学んでいる。150もの学術プログラムが提供されている。キャンパス内には、映画館やスポーツジム、スタジアムなどといった様々な施設が用意されている。学生は無料で学校にある施設を利用できる。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ州立大学には150もの学術プログラムが提供されている。その中に、IEP(Intensive English Program)と呼ばれるものがある。IEPは、テストでクラス分けを行い、少人数で授業を行う。本学の派遣留学生は、このプログラムに参加した。このプログラムは、留学生のためのものだ。3つのレベル別のクラスに分かれて授業を受けた。日本人以外にも韓国、中国、パキスタン、サウジアラビアなどの留学生も同じ授業を受けた。

3. 留学目的

今回の留学における個人的な目的は、英語力の向上・異文化理解を深めることである。日本で英語の勉強をしていると文法やリスニングなどが中心であり、TOEICのスコアを伸ばす為の授業がほとんどである。そのため、スピーキング力を向上させることが難しい。英語しか通じない環境に行くことで、スピーキング力・リスニング力を効率的に向上できる。ネイティブの先生からの指導を受ければ、正しい発音も身につくと思う。また、海外で実際に生活することによってアメリカの文化を肌で感じ体験できる。様々な国の人と関わることで日本には学べないことが沢山ある。そして、世界の人々にも日本文化の魅力を発信していくことも今回の留学の目的としていた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
8	22	到着、入寮
	23	注射・採血、分けテスト
	26	授業開始
	29	IEP Activity ボーリング
9	13	IEP Activity メジャーリーグ観戦
10	3	IEP Activity 演劇鑑賞
	12	ホームカミングバレード
	17	IEP Activity ジャック・オー・ランタン作り
	31	IEP Activity ハロウィンパーティー
11	22	IEP Activity 映画鑑賞
	23	Thanksgiving break
	25	ニューヨークへ旅行
	29	↓
12	6	TOEIC
	11	IEP Graduation Ceremony
	12	出国
	13	帰国

時間割

午前の授業は前半後半に分かれており、10時頃に休憩がある。

金曜の1限は、交代で行われる。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:00 ～ 10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	American History or US-Japan Relations
2 限	11:00 ～ 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	TOEIC
昼 休 み	13:00 ～ 13:50					
3 限	14:00 ～ 14:50	Pronunciation	American Culture	Pronunciation	Grammar	
4 限	15:00 ～ 15:50			Writing	American Culture	

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・ Reading

テキストやプリントの長文を読み、読解力を高める授業だった。授業の後半は、図書館へ行き、パソコンで長文を読み問題を解いた。また単語クイズを単語力も身についた。

・ Writing

エッセイの書き方を学ぶ授業だった。また、timed essay といって授業中に30分で行うこともあった。

・ Grammar

教科書を用いて文法を学んだ。また、ペアワークが多かった。ペアで行うプレゼンテーションもあった。

- ・ Communication Skills

クラスディスカッションをし、プレゼン構成も学んだ。個人で行うプレゼンテーションが何回かあった。

- ・ Pronunciation

大学内にあるクリニックで発音を学んだ。4人のグループに先生が1人つき、発音を教えてくれた。

- ・ US-Japan Relation/American History/American Culture

主にアメリカの歴史を学ぶ授業。US-Japan Relation はアメリカと日本について、American History は植民地や奴隷差別について、American Culture ではゲストを招いて学んだり、パーティーと開いたりした。

- ・ TOEIC

TOEIC のパートごとに行った。学期末にテストも受けた。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学において英語力の向上・異文化理解することが目的だった。スピーキング力・リスニング力が以前に比べて向上していると実感した。実際、TOEIC の点数も留学前より上がった。日々の課題の取り組みや英語に沢山触れることの積み重ねが大切だと考える。また、アメリカの文化を肌で感じ、色々な国の人と関わり異文化理解も深めることができた。

6. 反省点・課題

日本人は、他の国の人に比べ積極性が足りないと感じた。もっと積極的にイベントに参加し、授業ももっと積極的に参加すれば良かったと後悔している。間違いを恥ずかしがらず、英語をもっと話せばスピーキング力も上がったと思う。今回学んだことを無駄にせず、この反省点を生かせるように更なる英語力の向上を目指したい。

7. 謝辞

今回お世話になったセントラルミズーリ州立大学の先生方、その他携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。また新潟国際情報大学からの奨学金により留学することができました。そして、両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

付録：留学日誌

<Thanksgiving break>

一週間ほどの休みがあったので、ニューヨークへ旅行に行った。ニューヨークでは、タイムズスクエア・ブルックリン橋・自由の女神など観光地を回ったり、ショッピングをしたり、アメリカンフードを食べたりと沢山ニューヨークを堪能した。とても充実した旅行を送ることができた。

アメリカの文化について

- ・寮は2人で1室、バスルームは隣の部屋と共同
- ・アメリカ人はスポーツ・イベント好き
- ・ウォルマートというスーパーマーケットでほぼ日用品が揃う
- ・基本レディーファースト
- ・フレンドリーな人が多い
- ・ラフな服装をしている人が多い

